

西之表市の種子島中学校で、3年生の虫歯保有率が2年間で54.8%から19.6%に減った。毎月8日を「歯っぴーDAY」とし、生徒会保健部を中心に給食後の歯磨き徹底や歯ブラシ点検を実施。こうした取り組みと成果が評価され、2023年度全国学校保健・安全研究大会(神戸市)で文部科学大臣表彰を受けた。

西之表・種子島中に大臣賞



文部科学大臣表彰の受賞を喜ぶ吉元芯さん(左)と宮田賢航さん
＝西之表市役所

生徒会主導で虫歯減

保有率54%から19%に キャラづくり意識向上

同校によると、これまで虫歯の治療率は高いが再び罹患するケースが多かった。保健部が全校アンケートを取ったところ、間食後歯磨きをほとんどしていないことが分かったという。3食以外でも歯磨きを習慣づけるため、保健部はこの1年、登校時に校門で呼びかけ、クラス単位で歯磨

きに取り組んでもらった。

活動に親しみを持ってもらおうと、美術部に依頼しオリジナルキャラクター「ハ

リミ」も制作。保健部副部長の3年吉元芯さんは

「みんなの意識が高まり、想像以上の結果が出た。後

輩につなぎたい」と話す。

本年度は、生徒が自ら健康管理できるよう「Go

o

Health 5

か

も制定。「た」「ね」「が」

「し」「ま」を頭文字に、

歯磨き以外に早寝早起きの

推奨やインターネット利用

の注意点を掲げた。

「心身が健康で、充実した

学校生活を送ることができ

れば」と部長の3年宮田

賢航さん。宮田さんは野球

部、吉元さんは柔道部に所

属しており、虫歯ゼロとい

う2人は「スポーツでは特

に歯を食いしぼるだけに大

切しなければ」と口をそろ

(緒方隆)

